



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東
コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-6328-2880
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,208	△0.5	138	△36.7	138	△37.0	86	△37.9
2023年9月期第2四半期	1,213	3.4	219	21.7	220	22.4	140	37.7

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 86百万円(△37.9%) 2023年9月期第2四半期 140百万円(37.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年9月期第2四半期	35	27	34	33
2023年9月期第2四半期	56	77	55	42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,628	748	46.0
2023年9月期	1,376	652	47.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 748百万円 2023年9月期 652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00				
2024年9月期(予想)			—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,500	9.9	200	△35.8	200	△36.2	280	41.1	110	99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	2,526,000株	2023年9月期	2,522,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	53,674株	2023年9月期	61,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	2,466,520株	2023年9月期2Q	2,469,282株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、訪日インバウンド需要の増加や雇用・所得環境が改善するなかで景気に緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、世界的な金融引き締め、原材料価格の高騰、円安の進行や消費者物価の上昇等により国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

日本企業は、DX推進、イノベーションの創発、生産性の向上、人口減少の中での顧客創造、といったテーマに直面し、急速に変化する市場環境の中でマーケティングのあり方そのものの見直しを迫られております。

そういった課題背景のもと中長期的に当社グループが提供するマーケティング支援事業の需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、当第2四半期は中期経営計画に沿った採用活動に注力いたしました。組織力強化・営業力強化の取り組みといたしましては、リサーチャー、コミュニケーションプランニング等の専門人材やマーケティングコンサルタント職を中心に積極的な採用活動を実施し、中長期的な受注体制及びサービス提供体制拡充に向けた活動に注力いたしました。上記と並行して未来への種まきとなるサービス開発や、新たな取り組みも実施いたしました。見込客リード獲得や集客力強化の取り組みとしまして、当社が蓄積してきたマーケティングの事例とノウハウを発信するwebメディア「マーケのカチスジ」を開設いたしました。

新サービスとしましては、当社インクルーシブマーケティングラボにおける研究成果を基に、多様性への理解や社会課題解決を目的としたインクルーシブマーケティングの推進を支援・コンサルティングするサービスを企業向けに開始いたしました。

当期につきましては、組織体制と営業体制の強化が重要施策と考えております。人員の増加は計画通りに進捗していることから、今後の売上拡大に向けた基盤構築の準備が進んでいる状況です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,208,075千円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益138,855千円（同36.7%減）、経常利益138,850千円（同37.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益86,984千円（同37.9%減）となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間の資産につきましては、1,628,824千円となり、前連結会計年度末に比べ252,204千円増加いたしました。これは主に、のれんの減少10,291千円があったものの、現金及び預金の増加137,834千円、受取手形及び売掛金の増加147,499千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、880,203千円となり、前連結会計年度末に比べ156,306千円増加いたしました。これは主に、短期借入金の減少25,004千円があったものの、長期借入金の増加126,706千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、748,620千円となり、前連結会計年度末に比べ95,898千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益86,984千円の計上による利益剰余金の増加があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ137,834千円増加し、606,144千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,097千円の支出となりました。これは主に、売上債権の増加額147,499千円、法人税等の支払52,626千円があったものの、税金等調整前四半期純利益138,850千円、仕入債務の増加額12,829千円等があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは558千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出558千円等があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは139,490千円の収入となりました。これは主に、借入金の返済による支出60,693千円があった一方で、長期借入金の借入れによる収入200,000千円があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月14日の「2023年9月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から修正しております。詳しくは、2024年5月14日公表の「連結子会社の異動（株式譲渡）、特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	498,310	636,144
受取手形及び売掛金	286,999	434,498
仕掛品	28,436	27,752
貯蔵品	7,406	9,314
その他	53,368	42,180
貸倒引当金	△898	△941
流動資産合計	873,622	1,148,948
固定資産		
有形固定資産	40,131	38,123
無形固定資産		
のれん	125,939	115,647
ソフトウェア	12,906	10,746
無形固定資産合計	138,845	126,394
投資その他の資産		
差入保証金	256,417	255,952
その他	67,601	59,404
投資その他の資産合計	324,019	315,356
固定資産合計	502,997	479,875
資産合計	1,376,619	1,628,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,257	87,087
短期借入金	25,004	—
1年内返済予定の長期借入金	53,201	90,806
前受金	22,934	11,743
未払法人税等	52,626	42,160
賞与引当金	—	23,318
パネルポイント引当金	77,218	84,116
その他	161,009	157,008
流動負債合計	466,251	496,240
固定負債		
長期借入金	251,620	378,326
資産除去債務	3,036	3,046
その他	2,989	2,589
固定負債合計	257,645	383,962
負債合計	723,897	880,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,721	85,013
資本剰余金	285,127	285,013
利益剰余金	352,906	439,890
自己株式	△70,032	△61,296
株主資本合計	652,722	748,620
純資産合計	652,722	748,620
負債純資産合計	1,376,619	1,628,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,213,753	1,208,075
売上原価	634,857	630,529
売上総利益	578,895	577,545
販売費及び一般管理費	359,671	438,690
営業利益	219,224	138,855
営業外収益		
受取利息	2	2
補助金収入	1,191	627
その他	1,179	812
営業外収益合計	2,374	1,441
営業外費用		
支払利息	1,104	1,405
支払保証料	222	41
営業外費用合計	1,327	1,447
経常利益	220,271	138,850
税金等調整前四半期純利益	220,271	138,850
法人税、住民税及び事業税	79,197	42,160
法人税等調整額	893	9,705
法人税等合計	80,090	51,866
四半期純利益	140,181	86,984
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,181	86,984

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	140,181	86,984
四半期包括利益	140,181	86,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,181	86,984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,271	138,850
減価償却費	4,333	4,726
のれん償却額	10,291	10,291
株式報酬費用	—	1,610
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	43
パネルポイント引当金の増減額(△は減少)	6,046	6,898
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	1,104	1,405
売上債権の増減額(△は増加)	△142,422	△147,499
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,769	△1,224
その他の流動資産の増減額(△は増加)	9,984	16,865
仕入債務の増減額(△は減少)	34,637	12,829
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,331	8,137
小計	139,815	52,931
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△1,104	△1,405
法人税等の支払額	△60,743	△52,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,970	△1,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△240	△558
無形固定資産の取得による支出	△8,785	—
差入保証金の差入による支出	△239,368	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248,394	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△25,004
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△38,980	△35,689
新株予約権の行使による株式の発行による収入	33	583
自己株式の取得による支出	△69,973	—
その他	△502	△399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,422	139,490
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△229,847	137,834
現金及び現金同等物の期首残高	679,248	468,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	449,401	606,144

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社株式の譲渡)

2024年5月14日付の当社取締役会において、当社の連結子会社である株式会社セールスサポートの全株式を株式会社ディ・ポップスグループに譲渡することについて決議いたしました。本件株式譲渡に伴い、セールスサポートは当社の連結対象からは除外されることになります。

(1) 譲渡の理由

当社グループは、「人と企業の架け橋となる価値ある情報サービスを提供し、人々の生活向上と社会発展に貢献する」という理念のもと、マーケティング支援事業を展開しております。セールスサポートにおきましては、600万件以上の新鮮な企業情報を地域・業種別に自動でリスト化できるUrizo（ウリゾウ）を提供し、企業間のご縁を紡ぐサービスを展開しております。

当社グループはセールスサポートを2015年に子会社化し、BtoB事業者に向けたマーケティング支援を行ってまいりましたが、当社グループとの事業シナジーや市場環境、経営資源の選択と集中を検討するなか、株式売却について検討したところ、株式会社ディ・ポップスグループへ株式譲渡することが3社にとって最善であるとの判断に至ったものであります。

(2) 譲渡する連結子会社の概要

- ①名称 : 株式会社セールスサポート
- ②所在地 : 東京都渋谷区南平台町16-25
- ③代表者の氏名 : 代表取締役 橋本 光伸
- ④事業の内容 : BtoBマーケティング支援事業
- ⑤資本金 : 150万円
- ⑥設立の時期 : 2009年3月16日

(3) 株式譲渡の相手先の名称

株式会社ディ・ポップスグループ

(4) 株式譲渡予定日

2024年5月15日

(5) 譲渡する株式の数及び譲渡後の持分比率

- ①譲渡株式数 : 100株
- ②譲渡後の持分比率 : 0%

(6) 今後の見通し

本件株式譲渡によって、2024年9月期第3四半期において、167百万円を子会社株式売却益として、特別利益に計上する見込みです。

なお、連結業績予想の修正につきましては、2024年5月14日公表の「連結子会社の異動（株式譲渡）、特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。